

図書室より

「新着図書」

のお知らせ

〈児童書〉

『小説 すずめの戸締まり』 新海誠

九州の静かな港町で叔母と暮らす 17 歳の少女、岩戸鈴芽。
ある日の登校中、美しい青年とすれ違った鈴芽は、「扉を探してるんだ」という彼を追って、山中の廃墟へと辿りつく。しかしそこにあったのは、崩壊から取り残されたように、ぽつんとたたずむ古ぼけた白い扉だけ。何かに引き寄せられるように、鈴芽はその扉に手を伸ばすが……

———星と、夕陽と、朝の空と。迷い込んだその場所には、すべての時間が溶けあったような、空があった———

不思議な扉に導かれ、すずめの“戸締まりの旅”が始まる。

『さらに ざんねんないきもの事典』 今泉忠明

生き物がさらに愛おしくなる

地球には、すごい能力をもつ生き物がたくさんいます。

でも一方で、「どうしてそうなった!？」と思わずつつこみたくなる

ざんねんな部分をもった生き物も存在するのです。

草に苦しめられるライオン、鳥にだまされるミーアキャット、ハトのような鳴き声だったティラノサウルス、ツンデシなボツリヌス菌、200年もほっとかれたトマトなど……

進化の結果、なぜかちょっとざんねんな感じになってしまった生き物たちの真実を存分にお楽しみください!

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂8』 廣嶋玲子

銭天堂をつぶそうと怪童をさしおけたよどみだったが、紅子と怪童との駄菓子勝負は引き分けに終わる。我慢ができないよどみは、自ら紅子の店をつぶそうと、自分の分身ともいえる黒い招き猫を銭天堂に放った。

2匹の黒猫は、お店の工房で駄菓子に悪意エキスを混ぜはじめる……。そのことにまったく気がつかない紅子。

悪意の入った駄菓子を買ったお客の運命は？

どうなる銭天堂!

